

前回もサッカーの試合が行われていた!

# 1964年の東京オリンピック 当時のさいたま市を振り返る

1964年に行われた東京オリンピックでも、さいたま市内を聖火リレーが通ったり、市内の競技場でサッカーが行われていました。当時の様子を知る方にもお話を聞きながら、当時の様子を振り返ります。

## 2日間で埼玉県を駆け抜けた 1964年聖火リレーの思い出

前回の東京オリンピックでも、聖火リレーが埼玉県内を通りました。当時から、旧中山道沿いで豆腐店を営んでいる小倉ハルさん(83歳)は、その時のことを次のように話してくれました。

「お店の前の旧中山道を聖火リレーが通るといので、外に出て見ました。周辺は、駅前よりも人だかりは少なく、聖火ランナーが良く見えました。当時の競技も、とても楽しみにしてテレビで見たんですよ。バレーボールが強く、テレビで見ながら応援したのを覚えています。」



旧中山道を大宮方面から浦和方面に向かって行く聖火リレー。大宮駅付近には多くの観衆が押し寄せて賑わった。



## 現NACK5スタジアムで サッカー競技が行われた

前回の東京オリンピックでは「大宮蹴球場」(現在のNACK5スタジアム大宮)でサッカー競技の一部が行われました。サッカーは当初国立競技場や秩父宮ラグビー場などの3会場で行われる予定でしたが、試合数や芝生の管理の都合上、3会場では間に合わないということで、1963年に急きょ、大宮公園と横浜市三ツ沢公園内の蹴球場での実施が追加決定したそうです。そこで、埼玉県はこの競技場を国際規格のグラウンドとして整備。5試合が行われ5万8453人もの観客が集まりました。



左の写真は当時のスタジアムの外観。オリンピック前年に急きょ拡張工事が行われた。試合には多くの観客が詰めかけた。



## TOPICS 7

### まちをもっと美しく! 駅周辺を 中心に花いっぱい運動を展開

市民ボランティア・NPO団体・事業者の皆さんと協力しながら、「花いっぱいのみち」となるよう、花と緑による賑わいの創出に取り組んでいます。さいたま新都心の歩行者デッキでは、東京2020オリンピックに向けたまちの一体感を高めるため、令和元年12月に園芸講師の指導のもと周辺のテナントの方々がハンギングバスケットを製作・展示。市内を訪れる方の目を楽しませるよう、四季折々の花で市内各所を彩っています。

→詳細についてはみどり推進課  
(☎048-829-1423、FAX048-829-1979)まで。



上段はハンギングバスケット作りの様子。さいたま新都心駅周辺の歩行者デッキが華やかに。左下は浦和駅西口の花壇の様子。中ノ島地下通路を通った所にある。



## TOPICS 9

### 市内各地でイベントも開催中 ますますこれから盛り上がる

さいたま市でオリンピック競技のサッカー及びバスケットボールが開催されることのPR、及び東京2020大会への関心を高めるため、様々なイベントを開催中。これまで各区の区民まつりや1年前イベントなどでオリンピック・パラリンピック競技体験をはじめ、競技や選手、東京2020大会が楽しみになるような体験・参加型イベントを実施してきました。

今後のイベント情報については、こちらからご確認ください▶

→詳細についてはオリンピック・パラリンピック部  
(☎048-829-1023、FAX048-829-1996)まで。



昨年9月に行われた1年前イベントを始め、市内各地で子どもが参加できる機運醸成イベントが開催されている。

## TOPICS 6

### ピクトグラムも採用した 道路標識の多言語化が進行中

東京2020オリンピックをはじめ、国際的なイベントの開催が増える本市においても、国の「観光立国推進基本法」に基づき、案内板や道路標識などの多言語化が推進されています。これまでの日本語表記のみから、外国語を表記して多くの来街者に情報が伝わるよう進行中です。多言語化の1つとして、ピクトグラムも採用。視覚的に認識できるよう、道路標識などに加えています。

→さいたま新都心駅の多言語表記については都心整備課  
(☎048-829-1578、FAX048-829-1937)まで。

→道路標識の多言語化については道路環境課  
(☎048-829-1491、FAX048-829-1988)まで。



整備イメージ

市内の道路標識は全てピクトグラムを追加済み。さいたま新都心の案内板も、さらに見やすくなるよう整備中。

## TOPICS 8

### 埼玉スタアクセス環境改善! シャトルバス優先化を実施

埼玉スタジアム2002でのサッカー試合開催日における浦和美園駅周辺のアクセス環境改善に向けたプロジェクトの1つとして、スタジアム周辺道路の一部を「シャトルバス優先レーン」とするなどの交通社会実験を実施しました。公共交通への移動手段転換に向けたシャトルバスの所要時間改善を目的として行われています。今後のバス優先定常化も含めて、検討が進められています。

→詳細については浦和東部まちづくり事務所  
(☎048-878-5143、FAX048-878-5141)まで。



車線をカラーコーンで区切ってシャトルバスの優先レーンに。この交通社会実験は、平成30年からこれまでに3回行われている。

## オリンピック観戦と合わせて市内観光も楽しもう

### 北区 さいたま市大宮盆栽美術館



世界初の公立の「盆栽美術館」です。盆栽の素晴らしさ、面白さに気軽に触れていただく観光施設として親しまれています。

### 岩槻区 さいたま市岩槻人形博物館



令和2年2月22日に「人形のまち」岩槻にオープン。日本文化の中に息づく人形の魅力や奥深さを伝える博物館を目指しています。

### 大宮区 鉄道博物館



実物車両や収蔵資料の展示、シミュレータなどを通して、鉄道の歴史・技術の発展や現代の鉄道システムを学ぶことができます。